

# 栗原地域だより

第 27 号

平成 28 年 9 月 1 日 発行

## 目次

- 「みんなでしあわせになるまつり」が開催されます！
- 世界谷地湿原でヨシ・ササの刈り取り作業を行いました
- 第 11 回栗原市畜産共進会が開催されました
- 栗原産ズッキーニのPR活動が行われました
- 原木しいたけ（露地栽培）のさらなる出荷制限解除に向けて！
- 平成 28 年度「道路クリーンキャンペーン」を実施しました
- 今年も栗原にマラウイ共和国から研修生が来訪しました
- ご存知ですか？「命が救える身近なボランティア」
- 栗原イベント情報（9 月・10 月）
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

p1  
p2  
p2  
p3  
p4  
p5  
p5  
p6  
p7  
p8

秋の世界谷地



「みんなでしあわせになるまつり」が開催されます！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

会場に集まった方々、商店街の人達やスタッフなど、このお祭りに関わったすべての人達が幸せな気持ちになれるように、という願いが込められた「みんなでしあわせになるまつり 2016」が 9 月 18 日に開催されます。

お祭りでは、「今よりも便利ではなかったけれど、ひとつにもまちにも活気があった、昭和の時代」に活躍したレトロな車の展示やパレードのほか、ボンネットバス乗車会やフリーマーケットなどのイベントが会場を盛り上げます。

どこか懐かしい雰囲気にも包まれた商店街を訪れ、古き良き時代の気分を味わってみませんか。幸せな気持ちになれるお祭りに、ぜひお越しください。

【会 場】 六日町商店街  
(栗原市栗駒岩ヶ崎 六日町通り商店街)

【開催日時】 9 月 18 日 (日) 午前 9 時～午後 3 時  
※雨天決行

■お問い合わせ みんなでしあわせになるまつり  
実行委員会 (栗駒鷲沢商工会内)  
Tel: 0228-45-2191



昭和レトロな車が、大集合！  
(過去のまつりの様子)



ボンネットバスも運行されます  
(過去のまつりの様子)

## 世界谷地湿原でヨシ・ササの刈り取り作業を行いました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗駒国立公園の中にある世界谷地湿原は、高層湿原として学術的価値が高だけでなく、初夏には栗原市の花であるニッコウキスゲをはじめキンコウカなどが咲き乱れ、美しい景観で多くの人に親しまれています。しかし、一部で乾燥化が進み湿原特有の植生が変化してきたため、県では10年ほど前からボランティアの方々の協力をいただき、乾燥化に伴う侵入植物であるヨシやササの刈り取り作業を行っています。

今年の作業は、8月5日に行われ、平日にもかかわらず県関係以外で8団体、69人もの参加をいただきました。作業を始めた当初に比べると、木道周辺のヨシやササはかなり減ってきましたが、今年もこれらの侵入植物を大量に除去することができました。

湿原内の乾燥化は植物遷移の流れによるものであり、完全に止めることは困難ですが、長い時間をかけて形成された高層湿原の美しい景観を少しでも長く維持できるよう、今後も作業を続けていきます。



たくさん刈り取りました

■お問い合わせ 林業振興部 森林管理班 Tel: 0228-22-2133

## 第11回栗原市畜産共進会が開催されました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

7月9日、栗原市農業振興協議会が主催する「第11回栗原市畜産共進会」が、栗原市築館のJA栗っこ畜産センターで開催されました。会場には、平成29年度全国和牛能力共進会宮城大会のマスコットキャラクター、「牛政宗」も来場し、平成29年度全国和牛能力共進会宮城大会のPRを行いました

乳用牛は5つの審査部門に31頭が出品され、一迫地区の鈴木義博さんが所有する「エクセレントファームゴウ デアー号（育成）」と花山地区の野村泰仁さんが所有する「ジェリーデイストライ スレット号（経産）」が名誉賞を受賞しました。



肉用牛繁殖雌牛群団体賞の「瀬峰和牛改良組合」

肉用牛は個体審査 3 部門に 31 頭、群出品 2 部門に 8 組 27 頭の牛が出品され、瀬峰和牛改良組合の佐藤聖さんが所有する「よしのくに号」が名誉賞を、また、瀬峰和牛改良組合が団体賞を受賞しました。肉用牛部門の入賞牛は、9 月 9 日、10 日に美里町の「みやぎ総合家畜市場」で開催される県共進会（平成 29 年度全国和牛能力共進会宮城大会のプレ大会）に出品されます。



乳用牛部門に参加した生産者の方々



「牛政宗」による平成 29 年度全国和牛能力共進会宮城大会 PR

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班 Tel : 0228-22-2487

### 栗原産ズッキーニのPR活動が行われました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市内では生産者、農協、市役所、当事務所が一体となり、販売額 1 億円の目標を掲げ、ズッキーニの生産拡大に取り組んでいます。ズッキーニの旬である盛夏期を前にして、7 月上中旬には様々な PR 活動を行いました。

7 月 4 日には、栗原市長並びに栗っこ農業協同組合長が県庁へ村井知事を表敬訪問し、ズッキーニの産地化の取組を紹介するとともに、ズッキーニ料理の試食を行いました。この様子はテレビ局のニュース番組や新聞記事でも報道され、栗原産ズッキーニの知名度向上に大きく貢献しました。

また、「くりはらズッキーニウィーク」を 7 月 4 日から 18 日まで開催し、栗原市内の飲食店や県庁 2 階食堂、栗原市内の学校給食においてズッキーニを使った料理が提供され、多くの方にズッキーニ料理を味わっていただきました。



知事表敬訪問の様子

栗原産ズッキーニは、例年9月末まで多く出荷されます。栗原市内の農産物直売所や県内のスーパーマーケットで見かけた際はぜひお買い求めいただき、ご家庭で召し上がってみてください。

★「ズッキーニレシピ集」(栗原農業改良普及センターホームページにて公開)

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-n/zukkinirecipes.html>

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班  
Tel : 0228-22-9437



「くりはらズッキーニウィーク」で提供された料理  
(ズッキーニのバナナボート風オープン焼き)

原木しいたけ(露地栽培)のさらなる出荷制限解除に向けて！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市内の原木しいたけ(露地栽培)は、国から出荷制限が指示されています。出荷制限を解除するには、ロット(植菌年や栽培管理が同一のもの)毎に県が定めた栽培マニュアルに基づいた生産の工程管理が必要となります。

市内では平成28年1月に花山地区で生産者1名の1ロットが初めて解除となり、その後6月には鶯沢地区の生産者1名の2ロットが解除となり、出荷が再開されています。

現在、解除になっている生産者は、きのこの発生場所となるスギ林内の「ほだ場」において、ほだ木が直接地面に触れないように木材チップを敷き詰めたり、落ち葉を除去するなど、安全・安心なきのこが発生するための環境を整備した上で、発生したきのこの検査を実施し、安全を確認してから出荷しています。

市内では6名の生産者が安全な原木を使用して、出荷制限解除を目指し栽培に取り組んでいます。当事務所ではさらなる解除に向け、生産者にしっかりと寄り添いながら、森林を活用した原木しいたけ(露地栽培)の生産が再開できるよう支援を行ってまいります。

なお、出荷制限解除に関する詳しい内容については、下記連絡先までお問い合わせください。

■お問い合わせ : 林業振興部 林業振興班 Tel : 0228-22-2381



スギ林内のほだ場

## 平成 28 年度「道路クリーンキャンペーン」を実施しました

北部土木事務所栗原地域事務所

国土交通省では、毎年 8 月を「道路ふれあい月間」として定めており、道路を利用する方々に道路とふれあい、道路の役割や重要性を改めて認識していただくとともに、道路を常に広く、美しく、安全に利用していただくための各種活動を全国的に展開しています。

当事務所では、「道路ふれあい月間」の活動の一環として、8 月 10 日の「道の日」に合わせ、宮城県建設業協会栗原支部の皆様とともに総勢約 100 人で「道路クリーンキャンペーン」を実施しました。

当日は、最高気温が 30 度を超える暑さの中、栗原市内で県が管理する道路や歩道に捨てられたペットボトルや空き缶のゴミを拾うなど、清掃活動を行いました。

また、栗原市築館佐野地内の国道 398 号沿いでは、ドライバーにチラシを配布し、道路愛護や道路の正しい利用の推進を呼び掛ける街頭キャンペーンを行いました。

なお、当日は、健康づくりについて、県と連携協定を結んだばかりの大塚製薬株式会社から熱中症対策として参加者全員に飲料が配られました。

参加された皆さま、本当にお疲れ様でした。



道路のゴミ拾い



道路の正しい利用を呼び掛け

■お問い合わせ：北部土木事務所栗原地域事務所  
行政班 Tel：0228-22-2174

## 今年も栗原にマラウイ共和国から研修生が来訪しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

マラウイ共和国は、アフリカ大陸南東部に位置し、国土面積は日本の九州と北海道の面積を合わせた程です。マラウイ共和国の基幹産業は農業ですが、作物を育てるための農業用水を降雨（雨水）に頼っていることから、農産物の安定的な生産及び増産を進める上で、乾期における農業用水の確保が課題となっています。



表敬訪問での記念撮影

県では、国際技術協力事業の一環として、平成23年度からマラウイ共和国の研修生を受け入れており、今年も昨年に引き続いて4名の研修生を受け入れ、7月19日から8月5日までの日程で農業水利技術の向上を目的とした研修を行いました。

栗原地域には7月28日、29日の2日間にわたり研修に訪れました。28日は、当事務所に表敬訪問のため来所した後、乗って農業協同組合の訪問や宿の沢ダムの施設見学を行いました。さらには瀬峰農場を訪れ、大内会長から循環型農業について学ぶとともに、ミニトマトやブッキー二畑の視察を行い、各訪問先での説明に皆、熱心に聞き入っていました。

29日は、宿の沢ダム周辺で実際に測量機器を用いた測量実習に取り組みました。

今回の研修で学んだ技術と知識が、マラウイ共和国の農業発展に繋がることを期待しています。



測量機器を使った実習の様子

■お問い合わせ：農業農村整備部 水利施設保全班 Tel：0228-22-2435

ご存知ですか？「命が救える身近なボランティア」

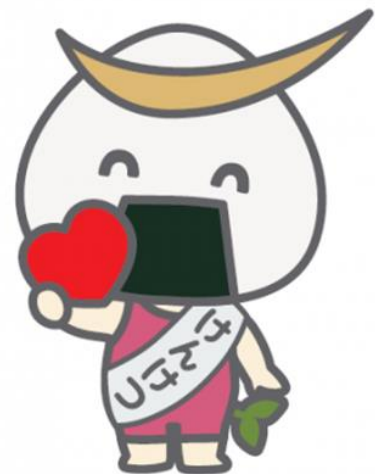
北部保健福祉事務所栗原地域事務所

「3,000人」この人数を聞いて皆さんは、何を想像しますか？

これは、日本国内で、1日平均で病気やけがなどにより輸血を必要としている患者さんの人数です。1か月にすると、単純計算で9万人以上の患者さんが輸血を必要としていることとなります。

医療技術は、日々進歩していますが、残念ながら血液を人工的に造ることはいまだにできません。このため、輸血を必要とする患者さんのために「献血」が必要とされているのです。

しかし、日本は少子高齢社会を迎え、献血が可能である若い世代の割合が減少していること、その一方で輸血を必要とする高齢者の割合が増えていること、さらには、若い世代の献血者が減少していること等を原因として、2027年には献血者85万人分の血液が不足するとの推計が日本赤十字社からは示されています。



むすび丸からも、献血へのご協力を  
お願いします！

栗原市内では、定期的に献血バスが運行されています。献血にかかる時間は受付から採血後の休憩まで、わずか40分程度です。

「命が救える身近なボランティア」、献血にぜひ御協力ください。

■お問い合わせ：北部保健福祉事務所栗原地域事務所 食品薬事班 Tel：0228-22-2115

栗原イベント情報（9月・10月）

北部地方振興事務所栗原地域事務所

〈9月開催イベント〉

日にち	イベント名	地域
9/1(木)	第66回 東北神楽大会	栗駒
9/11(日)	2016栗駒耕英岩魚祭	栗駒
9/17(土)	第10回 全日本栗原伊豆沼レンコン掘り大会	若柳
9/18(日)	みんなであわせになるまつり2016	栗駒
9/22(木)	第15回 志波姫人形感謝祭	志波姫



〈10月開催イベント〉

日にち	イベント名	地域
10/2(日)	第23回 金田森フェスティバル	鶯沢
10/9(日)	第29回 花山・湖秋まつり	花山

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 28 年 6 月 20 日～8 月 19 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

6 月 20 日から 8 月 19 日までの間に農林産物 30 点を簡易検査し、すべてが食品の基準値（100 ベクレル/kg）以下で、基準値の 2 分の 1（50 ベクレル/kg）を超え、精密検査が必要になる食品はありませんでした。

市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの（6/20～8/19）

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
うめ	—	◎	たけのこ(2点)※	—	—	◎
かぼちゃ	—	◎				
キャベツ(3点)	—	◎				
きゅうり	—	◎				
コリンキー	—	◎				
じゃがいも	—	◎				
ズッキーニ(3点)	—	◎				
セロリ	—	◎				
だいこん	—	◎				
つるむらさき	—	◎				
トマト(4点)	◎	◎				
なす(2点)	—	◎				
にんじん(2点)	—	◎				
はくさい	—	◎				
ピーマン	—	◎				
ブロッコリー	—	◎				
ほうれんそう	—	◎				
らっきょう	—	◎				
りんご		◎				

◎：基準値以下      —：検査未実施

※「たけのこ」は、出荷制限解除地域において登録者が生産したもの

※放射性セシウム濃度基準値	
食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を  
ご覧ください。

[http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/shokuhin.html](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

- お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物）  
林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

E-mail：[nk-khsinbk@pref.miyagi.jp](mailto:nk-khsinbk@pref.miyagi.jp)

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号（第 28 号）は 11 月 1 日発行予定です。